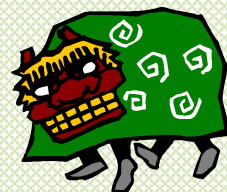


図書館 1月



おはなしかい

1月9・16・23・30日(水) 午後3時30分から

ひとりでおはなしが聞けるお子さんが対象です。絵本の読み聞かせを行います。

親子おはなしかい

1月23日(水) 午前11時から

親子で参加できるおはなしかいです。わらべうたや絵本の読み聞かせなどを行います。市内に在住の小学校未就学児とその保護者が対象です。

ボランティアによる土曜おはなしかい

1月26日(土) 午後3時から

市内で活躍している読書グループによるおはなしかいです。今月は「人形劇ぱびゅぺぽ」です。



【レファレンスQ&A】 “レファレンス”とは、図書館員がみなさんの調べ物のお手伝いをすることです

Q. 十二支の由来が知りたい

A. 十二支(じゅうにし)とは、本来は木星が12年で天を一周することから、中国の天文学で毎年度における木星の位置を示すために天を12分した場合に用いる、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の総称。これらを12の動物にあてることから、日本では、ね(鼠)・うし(牛)・とら(虎)・う(兎)・たつ(龍)・み(巳)・うま(馬)・ひつじ(羊)・さる(猿)・とり(鶏)・いぬ(犬)・い(猪)とよむ。12年ごとに一巡する年まわりを示し、また十干(じっかん/甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と組み合わせられて、60年で一巡する年、あるいは60日で一巡する日をあらわすほか、時刻や方角などを示すのに用いられる。

「日本国語大辞典」(小学館)より

なぜ動物を当てはめたのか、また、なぜこの動物が選ばれたのかは正確にはわかっていません。しかし、現在でも十二支は私たちの暮らしに深く浸透しています。平成25年は巳年です。蛇は脱皮することから、過去から脱皮して再生する年といわれ、また巳年生まれは辛抱強い性格で困難に負けない強さと精神力を持ち合わせているといわれています。

参考資料 「巳歳生まれは、福を呼ぶ人」(三五館)、「十二支の民族誌」(八坂書房)

「幸運をもたらす干支のいわれ」(実業之日本社)、「十二支の話題事典」(東京堂出版) ほか

特集コーナー 1月のテーマ

日本の伝統芸能 〈演劇〉



後世に残したい誇るべき職人たちの技の特集として、今回は演劇・歌舞伎・狂言・人形浄瑠璃・能楽を取り上げます。

図書館入口わきの特集コーナーでは、毎回テーマを決めて本を紹介しています。貸出できますのでぜひご利用ください。

白井市立図書館 開館時間：火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時
毎週月曜日休館 (1月31日(木)は館内整理日のため図書館のみ休館し、各センター図書室は開館します)